

落ち着かない子に

子供たちの様子を見ていると、落ち着かない子が何人かいます。そこが理由でかがやき教室に通ってくる子もいます。どのような様子かというと、

- ・目的なしに歩き回る。(気がつくと椅子からお尻が浮いている。)
 - ・たびたび話題を変える。(思いついたことをしゃべる。)
 - ・空想にふける。(呼んでもすぐに返事をしない、気づかない。)
 - ・指示を聞いていない。(思いついたことをやろうとする。)
 - ・休みなく動いている。(体の一部が常に動いている。)
 - ・注意散漫で、集中できない。(課題になかなか取り組まない。)
 - ・おしゃべりを我慢できない。(課題取組中にしゃべり出す。)
- などです。()は、かがやき教室でよくみられる様子です。

このような子にはどう声をかければよいのでしょうか。

「集中して。」

「今は動かない。」

などと言っても効果はありません。それは、みんな『動いてはいけないことは分かっている』からです。分かっているけど動いてしまうのです。つまり、『落ち着かない』のではなく、『落ち着けない』のです。

このような子にはどういう支援をすればよいのでしょうか。

かがやき教室では、まず、『動かないとはどういうことか』を体験させます。例えば、

- 1分間動かない練習をする。(床に横になって、床に座って、椅子に座って)
 - 「～をしている間はしゃべらないよ。」と初めに指示を出して取り組ませる。
 - 好きなこと、得意なことに取り組む。(座ってできることで)
 - 授業の初めにたくさん話をさせ、「これからはしゃべらない。」と指示してから課題を出す。
 - 短い時間でできる課題に取り組ませ、集中できるようになったら少しずつ取り組む時間を長くする。
- などです。集中して、しゃべらずに取り組めた時には大いに褒めます。

そして、『少し動くだけならよしとする』ことも大切です。前に書いたように、『分かっているけど動いてしまう子』なので、無理に動きを止めようとすると、気になってますます落ち着かなくなってしまうので、目立たない動きならば許すようにします。そうすることで、リラックスして課題に取り組むことができ、大きな動きが減ったり、集中できるようになります。

無理に矯正するのではなく、動かないですむ環境を提供することで、落ち着いた生活ができるように促していきます。少しずつ、確実に、無駄な動きは少なくなっていくと思います。



11月25日～12月6日の予定

さんのかげやき教室の学習は

月 日 () 時間目

月 日 () 時間目

です。

